

令和6年度第3回南会津町地域公共交通会議 会議録

I. 日時 令和6年12月25日（水）午後1時25分から午後2時00分

II. 場所 南会津町役場 本庁舎3階 正庁

III. 次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議

(1) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について【資料1】

(2) その他

4 閉 会

IV. 出席者（委員18人中11人（内1名オンライン）出席）

区 分	団体・機関等	職 名	氏 名	出欠
(1)町長が指名する役職員	南会津町	副町長	佐藤 一範	出
(2)一般旅客自動車運送事業者の代表	一般乗合代表 会津乗合自動車株式会社	バス・タクシー事業部 輸送管理課長	小澤 睦	代理 津田弘幸
	一般乗用代表 南会津町事業者代表 田島タクシー有限会社	代表取締役	馬場 丈晴	欠
	一般貸切代表 会津交通株式会社	代表取締役	吉田 正寿	欠
(3)一般旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表	一般乗合自動車運送事業者の組織する団体の代表 公益社団法人福島県バス協会	専務理事	穴戸 紳一郎	欠
	一般乗用旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表 社団法人福島県タクシー協会会津支部	支部長	佐藤 俊材	欠
(4)住民又は利用者の代表	高齢者代表	田島地区老人クラブ連絡協議会長	高橋 紀	出
	婦人代表	舘岩商工会女性部長	芳賀 久美	欠
	青年代表	南郷青年会事務局長	五十嵐 太介	出
	児童生徒保護者代表	田島小学校PTA会長	平山 鷹	出
(5)東北運輸局長若しくは福島運輸支局長又はその指名する者	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	首席運輸企画専門官	黒田 雅樹	出 オンライン

(6)一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表	一般乗合旅客自動車運送事業者に係る団体の代表 会津乗合自動車株式会社労働組合	書記長	関根 誠	欠
	一般乗用旅客自動車運送事業者に係る団体の代表 福島県ハイヤータクシー労働組合会津支部	組合員	浅井 角栄	出
(7)道路管理者、福島県警察、学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	福島県南会津地方振興局	県民環境部副部長 兼県民環境課長	渡部 洋一郎	出
	南会津警察署	地域交通課長	星野 晃佑	出
	南会津建設事務所	企画管理部長	三瓶 融	出
	南会津町社会福祉協議会	会長	渡部 仁	欠
	会津鉄道株式会社	駅事業部部長兼会津田島駅駅長	湯田 仁	出

【事務局】南会津町総合政策課長：星良栄 地域振興係長：舟木浩隆 地域振興係主査：室井成美

V. 会議

～進行～

1 開会

舟木係長より開会宣言

- ・会議に先立ちまして会議録を作成する都合上、会議での発言は録音をさせていただきます。
- ・会議成立に関してであります。本日の会議では、国土交通省東北運輸局福島運輸支局の黒田専門官がウェブで出席されております。黒田専門官を含め委員総数18名の内11名に出席いただいております。南会津町地域公共交通会議設置要綱第5条第2項に定める半数以上の出席の要件を満たしておりますので、本会議は成立することを報告させていただきます。

2 会長あいさつ

佐藤一範会長

- ・皆さんこんにちは。今ほどご紹介ありました南会津町副町長佐藤でございます。本日の会議開催にあたりましては、皆様には年末のお忙しいところ、またお足元の悪い中、遠方よりご出席をいただきましてありがとうございます。本日の協議内容につきましては、令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価でございます。本町で運行している各地域のデマンドタクシーは、地域間交通ネットワークに接続しているフィーダー系統として認定を受け、国庫補助金対象事業となっております。その実績の1次評価としまして、自己評価を行う必要があることから、委員の皆様にも評価をいただき、より利用しやすい公共交通となるよう、次年度以降の事業へ反映させてまいりたいと思っております。詳しい内容につきましては、後ほど事務局より説明がありますが、委員の皆様には、それぞれの立場から忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。簡単ではございますが挨拶といたします。

3 協議

(1) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

○資料1に基づき、事務局（室井）から説明

- ・荒海、長野、栗生沢、館岩地域内、館岩田島地域間、桧沢地域の6系統の自己評価について説明。
委員からご意見等いただき、会議で承認したものを国に提出する。

【質疑・意見等】

佐藤会長：せっかくの機会ですので、何名かの方を指名させていただきまして感想等でも結構ですので、ご意見等いただければと思います。まず、事業者の目線で実際に運行していただいているハイヤータクシー労働組合の浅井さん、感想でもなんでも結構ですが何かございますか。

浅井委員：私達の会津交通の方で町内と館岩地域のデマンドタクシーを運行していますが、福祉関係の方達の考えとお客様の考えに少しずれがあると思っています。歩けないご老人の方はケアマネージャーさん等がついてこないでデマンドタクシーは乗車して駄目ですよという、診療所の意見を聞かないで、乗ってこようとするお客様いらっしゃるのですが、老人の方たちに、もうちょっと寄り添っていただきたいと感じました。ただ乗車させるだけでしたら大丈夫ですが、何かあった時の対応に関して手薄だと感じており、福祉関係の方たちに言っても、やはりその人だけ1人に対しての対応はできませんと言われました。利用者のほとんどは高齢者なのでもう少し寄り添っていただきたいと感じたところがありましたので、お考えいただけないかなと思います。

事務局：今ほど、意見いただいたことに関しましては、実際に「ステップを出してもらえなかった」等の苦情的なものが健康福祉課の方にお年寄りの方から来たというような情報共有もされております。歩くのが困難な方、なかなか乗れない方に対してどういうケアをしていくかというのは、これから福祉関係や社会福祉協議会とも協議をしながら、対応できるところは対応していきたいとは思っておりますが、今すぐ出来るとはお答えできません。申し訳ありません。

佐藤会長：ご利用される方は年配の方や自分で運転できない方が多いと思いますので、このような寄り添った対応というのは、やはり今後どんどん必要になってくるのかなというふうに思いますので、庁内で関係部局、関係機関とも協議をして可能な範囲で、できるだけ早く対応どんな形であれば対応できるのかを検討していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

その他、リモートで参加していただいている運輸支局の黒田専門官に全体をご覧になられて、感想等いただければと思います。

黒田委員：説明を聞かせていただきまして、1つ驚いたといえますか、達成率がすごいと思いました。乗客の乗車率の達成率は前回と比べてもさらに増えていて、乗客数が増えているというような形になるのかなと思って見ておりました。少し気になったのは、実績の運行回数は低いのですが乗車率が100%超えてるといえるのは、これは1回の乗車人数が多くなっているというような理解でよろしいでしょうか。

事務局：具体的に長野地域の部分をおっしゃっているのかなと思うのですが、こちらに関しましては、目標値と実績が令和4年度の時にかなり乖離しておりまして、運輸支局から「実績と乖離しないように」というご指摘をいただいておりますので、目標値を下げた形で設定させてもらったため、目標値は達成率100%超えているのですが、運行割合は70%程度という結果になっています。

黒田委員：そうすると目標値が下がったため、達成率が軒並み超えていったというような形になっているということでしょうか。

事務局：その通りです。

黒田委員：実際に乗車人数も増えていきますでしょうか。

事務局：実際に何十名か実績は上がっています。

黒田委員：いろいろと実施されているのは、この評価の中で見てわかるので、ぜひまた周知等、いろいろと実施していただいて、もっと乗車人数が増えれば良いのではと思います。全体を見る限りだと、目標も達成し、乗客も徐々に増えてきているので、評価的にはとても良いと思います。

《協議事項（1）について原案のとおり承認》

(2) その他

【事務局より】

①南会津地域公共交通マップの紹介

・令和6年11月に路線バスのダイヤ変更と南郷地域で運行している乗合タクシーの変更を反映させた最新版となっています。各地域のデマンドタクシーの内容、10月から運行を開始した伊南地域の自家用有償運送、会津バスで運行している路線バス時刻表、鉄道の時刻表等を記載しています。こちらに関しては、町のホームページでの周知や、駅に設置、各タクシー事業者での利用者への配布等を実施している状況です。

②会津バス冬期限定たかつえスキー場行路線バス運行のお知らせ

・会津バスで運行する会津高原瀬口駅と、たかつえスキー場を結ぶバスのご案内になります。1月から3月の土日を中心としまして、1日1往復、リバティ会津の発着に合わせて、運行をしていただくことになりました。誰でも乗車することができますので、舘岩地域の町民の方にも、各戸配布のチラシで周知を行いました。また町のホームページ、たかつえスキー場のホームページ、野岩鉄道のホームページ、東武トップツアーズのチラシ等でも周知している状況です。

先ほど、評価の方でも説明しました、舘岩田島地域間のデマンドタクシーも、たかつえスキー場に行くことができますので、スキー場利用客の交通の足が増えて、交通の選択肢が広がったと思っております。

【会津鉄道会津田島駅長より】

③年末年始・冬季臨時列車運行等のお知らせ

・この場をお借りしまして、年末年始の臨時列車について少しご説明させていただきたいと思えます。まず1枚目は年末年始、冬季の臨時列車についてということで、休日運休の列車はこれが復活運転という形になります。時刻表では運休となっておりますが、こちらが1往復、会津田島駅から会津若松駅まで運転します。また、AIZU マウントエクスプレス号が JR 東日本喜多方駅乗り入れ延長運転ということで、喜多方駅まで会津田島駅発10時46分の列車が直通で、この日は延長運転をするというようなお知らせになっております。

次に2枚目、一部列車の時刻変更については黄色の部分が2～3分時刻変更になっております。

3枚目が東武鉄道のスカイツリートレインが臨時特急ということで年末年始、春日部から会津田島まで直通運転するというような形です。利用方法に記載がありますが、必ず特急券が必要となります。全席座席指定という形の特急になります。今のリバティ会津は、本来はこれも全席座席指定ですが、会津田島駅から鬼怒川温泉間に関しまして、空いている席があれば座ることができ、特急券をお持ちのお客様いらしたら移動していただく、特殊扱いになっていますが、今回のスカイツリートレイン臨時列車は特殊扱いがなく、必ず指定券を買っていただくというような形になります。

4枚目がお座トロ展望列車の臨時列車が会津田島から会津若松間1月3日から5日の間運行するというお知らせです。

特急券の話になりますが、会津田島駅からリバティ会津を利用したいお客様からのお問い合わせで1番多いのは、特急券が満席という話がよくあります。こういう場合は、鬼怒川温泉駅までは空いている席に座って行っていただき、そこから別の特急に乗り換えて行っていただくようになっています。解決策として若干席を東武鉄道から融通していただきました。本当にわずかなのですが埋まってしまうとは思いますがお知らせいたします。皆さんお知り合い等に情報を共有していただければありがたいと思います。

～説明終了～

佐藤会長：今ほどのお知らせにつきまして各機関の方でも持ち帰っていただいて皆さんの方にも情報共有、周知をしていただければと思います。その他皆様から質問や情報提供等あればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか

三瓶委員：路線バスの檜枝岐線が廃止になったのはいつからでしょうか。

事務局：令和6年10月1日から経路を変更して、内川線と統合という形で運行しております。

三瓶委員：そうすると館岩地域は路線バスが通らなくなってデマンドタクシーに依存するようになったと思うのですが、状況変化や定量的に何か状況等お話いただければと思います。

事務局：10月から路線バスが館岩地域を通らなくなりまして、デマンドタクシーを増便して対応するという形にさせていただきましたが、まだ10月11月と、2ヶ月ぐらいの結果しかありませんが、少しずつ利用客が増えている状況ではあります。また、観光客の方にも、館岩田島地域間のデマンドタクシーを周知しながら使っていただいている状況です。

山口を通過して内川、檜枝岐へ行く新たな檜枝岐線の実績に関しましては、まだ会津バスに確認していない為、実績の方は把握しておりません。

三瓶委員：困っているというような声はあまり多く届いてはいないということによろしいでしょうか。

事務局：10月の路線変更前のお知らせの段階で、たかつえスキー場へ行く予定のあるお客様からは、電話等で「たかつえスキー場に行くにはどのように行けばいいですか」というような心配の声はいただいておりますが、本日ご案内させていただきました会津バスのたかつえスキー場へ行く路線バスも運行していただくことになりましたので、そちらの心配はなくなるのではないかと考えております。

佐藤会長：檜枝岐線の路線変更に伴って、館岩田島地域間のデマンドタクシー増便も対応している状況ですので、おそらく利用者への影響は抑えられていると思います。

その他なにもないようでしたら事務局へお返しいたします。

～協議終了～

詳しい説明内容等については別添資料のとおりです。

以上